集落営農法人における組織運営の安定化に向けた担い手育成

【　対　象　】農事組合法人葉坂希望の郷　理事10名
【計画期間】令和7～9年度

大河原農業改良普及センター
千田晶子、髙橋真樹子、澤里昭寿、中込佑介、坂本龍之介、進藤裕子
進行管理　山村孝志

1．課題の背景

後継者不足

水田の区画が小さい

耕作していない農地の増加

危機感

新しく集落営農法人を設立
＋
農地整備事業

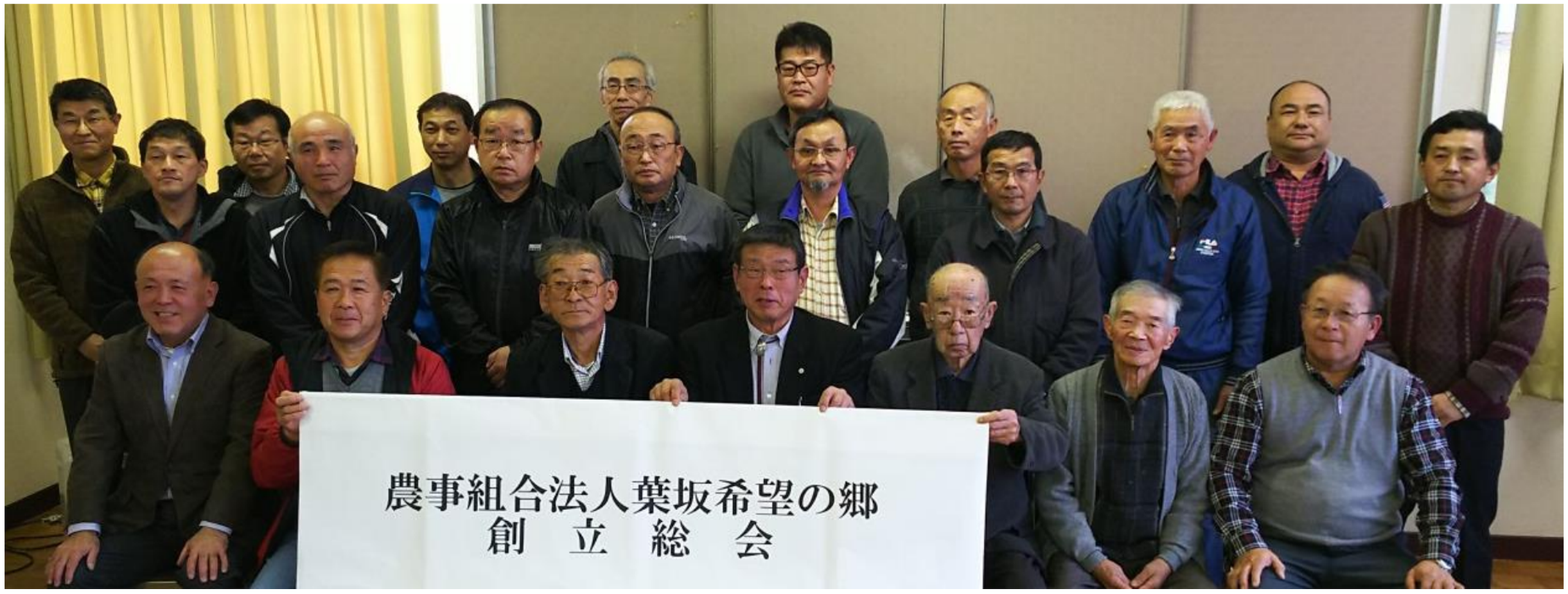
管内16地区で整備を計画・実施。うち12地区で新たに法人を設立（予定含む）

柴田町では現在、
6地区で整備を実施。
うち5地区で新たに
法人を設立。

柴田町葉坂の法人は、
最も早い取り組み事例

2-1. 対象者の概要

農事組合法人葉坂希望の郷(理事10名)



- １集落１農場（水稲39ha、露地園芸1 ha）
- 農地整備が完了間近
- 平成29年に設立（設立時構成員50～77歳）
- 理事と組合員（21名）は兼業農家で退職後に農作業従事

構成員の減少？

世代交代

2-2. 対象者の概要

法人の取り組み

- 省力化技術の導入
- 法人運営ルールの再設定

農薬散布用
ラジコンボート

現状

水稲	園芸	法人運営
ラジコンボートでの農薬散布や密苗疎植栽培を導入	高収益作物のタマネギ、加工用トマト、ブロッコリーに挑戦中	農地整備に合わせて柔軟に法人運営
湛水直播挑戦中	加工用トマト契約初年目	従事分量配当見直しを希望

3. 活動目標と活動事項

活動目標

- 水稲、園芸品目栽培の省力化技術について理解が深まる。
- 法人運営ルール見直しのための話し合いが開始される。

活動事項

水稲	園芸	法人運営
水稲省力化技術向上支援	園芸品目の栽培支援	法人運営支援
①ドローンによる湛水直播栽培支援 ②栽培支援システムの導入支援	①加工用トマトの栽培技術支援 ②省力化技術に対する理解促進	①営農支援システムの導入支援 ②従事分量配当の見直し支援

4. 活動状況

水稲省力化技術向上支援

①ドローンによる湛水直播栽培支援
- 調査の結果について情報共有
- 生育順調

4. 活動状況

水稲省力化技術向上支援

②栽培支援システムの導入支援
- 具体的な活用方法を説明
- 県の事業を活用して試行

xarvio™ FIELD MANAGER

生育マップ

現在の生育に近いデータを確認可能。追肥判断の参考になります

4. 活動状況

園芸品目の栽培支援

①加工用トマトの栽培技術支援

・適期薬剤散布等の指導

・栽培初年度としては
県平均並みの収量を確保

4. 活動状況

園芸品目の栽培支援

（省力化技術）

セル苗の直接定植

畝間オオムギリビングマルチ

②省力化技術に対する理解促進

・実証栽培を葉坂で実施

・現地検討会を開催し、生産者50名が参加

高収益作物現地検討会

4. 活動状況

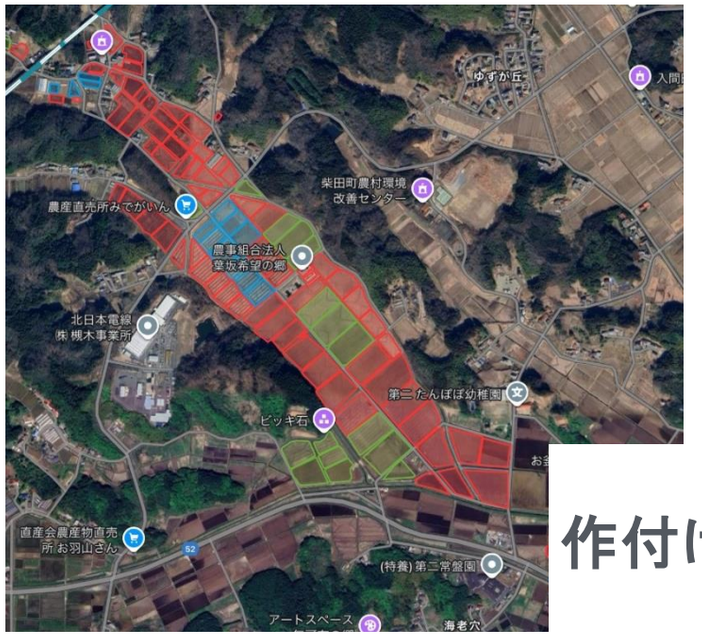
法人運営支援

作業時間の集計が楽になるね

①営農支援システムの導入支援
- アグリテックアドバイザー派遣事業を活用して研修会開催
- 目標は作業時間集計に活用すること

やってみれば簡単なんだなあ

agri-note.



作付けマップ

4. 活動状況

法人運営支援

②従事分量配当の見直し支援

・方法について相談対応

・今後の運営について提案

みんなの従事時間に見合う報酬が出せるように、ということであれば・・・

5. これまでの成果

活動目標

- 水稲、園芸品目栽培の省力化技術について理解が深まる。
- 法人運営ルール見直しのための話し合いが開始される。

試行中の省力化技術

水稲　ドローンによる湛水直播栽培
栽培支援システムの活用

園芸　加工用トマト　セル苗の直接定植
リビングマルチ

法人運営　営農支援システムの活用

5. 今後にむけて

水稲省力化技術向上支援

・今年の作付の課題整理

・今後導入する技術の検討

園芸品目の栽培支援

・加工用トマト栽培の振り返り

・ブロッコリー栽培支援・省力化技術の実証

法人運営支援

・営農支援システム入力実習の継続

・法人運営ルールの見直し
　・・・　専門家の活用